

地域の歴史の学び場に 文化祭大盛況



竜丘地区文化祭が、十一月十二日、十三日に竜丘公民館で開催されました。秋晴れのもと、各種グループや団体の展示や催し物で大いに賑わいました。

文化祭は、開会セレモニーで幕を開けました。今年の特別企画展は、民俗資料の特別企画展は、民俗資料委員会による石造文化財報告した。

等を図表に整理し展示されており、当時の人々の橋に掛ける思いが伝わってきました。

告「駄科の弘法様と観音様」の展示が行われ、初日には特別講演が行われました。

二日目では、公民館駐車場をステージに、時又保育園児のマーチングと竜丘保育園児の踊り、竜丘小学校四年生のよさこいソーランが披露され、多くの観客で賑わいました。

駄科分館は、「鈴岡城址公園百年の歩み」として、今年春に行われた開園百年の記念式典の様子や、新たに整備された公園の概要や整備前と後の比較写真の展示などがありました。

桐林分館は、「丘のみちしるべ」として、桐林八幡社の歴史や奉納額を展示し解

分館展示のコーナーでは、時又分館は「時又の歴史と三六災害」をテーマに、被害状況の写真や当時の地図に浸水状況を示すなど工夫を加えた展示が行われていました。展示を前に観覧者が当時の様子を熱心に話合う姿が見られました。

長野原分館は「南原橋の架橋の変遷とその時代背景」として、南原橋の架橋について、時代背景や橋の構造

説していました。

上川路分館は「趣味の作品展」として、上川路まつりの際に行われた消防自動車写生大会の絵などを中心に、日頃の成果を展示していました。

各分館では、模型展示や映像やデジタルフォトフレームで画像を流すなど、工夫を凝らした熱の入った展示が行われていました。

その他、各団体やグル

上川路分館は「趣味の作品展」として、上川路まつりの際に行われた消防自動車写生大会の絵などを中心に、日頃の成果を展示していただきました。

各分館では、模型展示や映像やデジタルフォトフレームで画像を流すなど、工夫を凝らした熱の入った展示が行われていました。

この他、各団体やグル

ープの日頃の成果が所狭しと展示され、喫茶軽食も大変混み合っていました。

子どもから高齢者まで、多くの人々の参加で賑わいました。



まだ小さな運動ですが
—ぶらきよる運動によせて—

笑顔が好きだから、その笑顔に会いたくて、今日吹く風が好きだから、今日の景色に会いたくて「ぶらきよる運動」に参加しています。

交流が目的だから、なんと
言われようといひんです。
あるお年寄りなんかは
掛かりつけのお医者さんに
この運動のことを話したら
「とても素晴らしい、続ける

「三時になったらまず外へ」
ストレス解消にとてもよい
運動です。参加しているお
年寄りの口から出た言葉
「なんだっけナア」キヨロ
キヨロ「じゃなくて、ゴロ
ツキ」でもなくて、でもい
いんです。主眼は毎日の元
気な姿に会えること、心の



これから見かけた人をなんとか呼び込みたい、そう思いながら毎日待つてます。緑ののぼり旗が目印です。気楽に顔を出して下さい。

(時又 沖田)

中平健吉氏が語る
——竜丘の自由教育の周辺——

今年も竜丘公民館主催で「自由教育」について考える講演会がありました。講師は、大正期の自由教育の余香が残る中で幼少期を竜丘で過ごされた中平健吉さんで、竜丘における自由教育の周辺」と題してお話されました。中平さんは元東京高裁裁判官で「家永教科書裁判」を担当された方で、今年八十五歳になられます。中平さんは幼少期の話と

敬の念」を幼心に焼き付けられたと語られました。また、日曜学校に通っていたことも話され、牧師の高橋三津平先生の心温かなお話しに聞き惚れたこと、そのうちに聖書の物語をすつかり暗記してしまったことなども語られました。その他当時の竜丘小には竜丘の自由教育を担われた先生方、余香があったとも話されました。

して、念道寺の和尚さんが、亡くなった友達のために熱心にお経を唱えてくれたことが脳裏に残っていると話され、この和尚さんの熱心な態度に「佛教に対する尊

中平さんのお話を聞くうちに昨年の竜丘市民大講堂で、木下陸奥先生が、自由教育が竜丘で実施された背景には、「自己の向上を目指すことを第一としながら

中平さんのお話を聞くうちに昨年の竜丘市民大学講座で、木下陸奥先生が、自由教育が竜丘で実施された背景には、「自己の向上を目指すことを第一としながら、

た。私の子どもも頃も、宗教を越え人々が繋がりが合うことを大切にされていたよ

他人の良さを認め合い尊重
 することを大事にする」と
 いう宗教的な土壌があつた
 と語られたのを思い出しま
 した。中平さんの幼少期も
 そうした風土であつたよう
 に思います。

(馱科 田添 莊文)



標語をのぼり旗に
育成委員会あいさつ運動

育成委員会では、十月の一ヶ月間分館単位であいさつ運動に取り組みました。朝、PTAの方々と協力して子どもたちにあいさつをし

ました。照れくさそうな聲をしながらも、元気にあいさつをかえしてくれたことが印象的でした。

中心に標語の草
集を行い、

スタート！

下平雄貴さん
・えがおで

いっばい
(二年一組
牧島楓さん
の優秀作品二生
品を、のぼり旗
にし、竜丘地区
内に掲揚し、ま
いさつ運動を成



「丘の語部たち」第五集
原稿を募集します

り上げました。

あいさつ運動は青少年健全育成会から竜丘公民館が事業を引き継ぎ行っています。十月をあいさつ運動の期間としていますが、一年中竜丘のどこにいても、明るいあいさつが聞こえてくることを期待しています。

「丘の語部たち」第五集
原稿を募集します

竜丘公民館では、「丘の語部たち」シリーズ文集を皆様方のご支援・協力により、昭和五十六年から三十年間をかけ第四集まで刊行してまいりました。

いづれも好評をいただきましたが、さらに飯田歴史研究所から飯田下伊那の地域史研究に多大な貢献をするものであると評価され平成二十年九月「飯田歴研賞奨励賞」を受賞いたしました。

今回、「丘の語部たち」第五集の原稿を募集します。

を語るものが主体でしたが、今回からは過去の体験に加えて、現在地区民の皆さんが活動されている事柄についても語っていただき、後世に引き継いでほしいと存じます。個人グループの活動体験など「あんなことがあった」「こんなことがあった」を気楽に綴ってください。特に壮年層、若い方々の投稿をお願いします。

高齢の皆さんには今回をチャンスととらえ自分の体験等を後世に伝えてください。

丘の語部たちに関するお問い合わせは竜丘公民館までお願いします。

等を後世に伝えてください。